

材料が変わると 社会が変わる

～SDGsに貢献する材料技術～

技術教育講座 教授

きたむら

かずひろ

講師

北村 一浩



講師プロフィール

技術教育講座 教授／創造科学系学系長

筑波大学修了後、鳥羽商船高等専門学校・長野工業高等専門学校で教鞭を執った後、2009年より本学准教授、2015年から教授となる。

2020年より創造科学系学系長、2021年から大学院修士課程長も歴任。専門は機械工学。博士(工学)。

開催日時

2022年2月14日(月)
17:30～19:15 受付 17:00～

次世代教育イノベーション棟 AUEカキツバタホール

対象 本学教職員、学生、一般(高校生以上)

先着60名

参加無料



参加申込フォーム

講演内容

現在SDGs(持続可能な開発目標)への取り組みが積極的に行われています。このようなSDGsの取り組みに、材料分野のイノベーションが大きく貢献しています。鉄筋コンクリートや青色LEDのような、「新材料」は常に社会を変えてきました。鉄筋コンクリートは、丈夫で長持ち・省エネルギーの建物の実現に貢献しましたし、青色LEDは、電灯の省エネルギーに貢献しました。金属のリサイクルもSDGsに貢献しています。2021年7月から行われた東京オリンピックの金・銀・銅メダルの金属は、携帯電話や小型家電からの完全なリサイクルで作られました。特別な機能を持つ金属もSDGsに貢献しています。例えば、私が研究を行っている、形状記憶合金を使ったバッテリーの要らない作業補助具も、省エネルギーに貢献しています。講演では、「材料」がどのように社会を変えてきたかを詳しく紹介します。

お茶とお菓子を
ご用意しています



形状記憶合金を活用した
バッテリーのいらない
腰サポーター